

国営大野川上流土地改良事業の早期完成を求める決議

竹田市西部の大野川上流地域は、肥沃な耕地、夏場の冷涼な気候など自然条件に恵まれ、県内最大の高原野菜の生産地となっており、大分県農業にとって極めて重要な地域でありながら、畑地では天水に依存した厳しい条件下での営農を強いられ、水田は農業用水利施設の老朽化等により、慢性的な用水不足となっている。

大蘇ダムは、これらを解消するとともに、施設園芸など収益性の高い新たな農業の展開を図ることを目的に国営事業として建設されてきたが、三十年という長い年月をかけ、五百九十三億円という巨費を投じたにもかかわらず、漏水が著しく、不完全なダムとなっている。このことから、昼夜を分かたず水管理をし、毎年水不足に苦しめられている地元農家は、一日も早く農業用水が確保できるよう切に願っているところである。

よって、本県議会は、現事業計画に基づく施設を早期に供用開始すること、また、漏水に対して地元が納得できる対応方針を早急に提示すること、さらに、地方に負担を求めることなく国の責任において対策を実施すること、以上について強く望むものである。

右、決議する。

平成二十一年十二月十日